

LPガスCP情報(2016年1月積み)

1. 1月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **345** ドル (前月比-115 ドル)

ブタン **390** ドル (前月比 -85 ドル)

① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、原油・石油製品市況が急落するなか、LPガススポット市況は需給緩和で大幅に続落、CP先物、CFR市況も急落した。極東CFR市況は軟化を続けていたフレート市況を受け軟調に推移、第4週でプロパン380 ドル 、ブタン420 ドル どころ、ディスカウント市況で推移した。

ナフサは原油市況に連れ軟化、455~410 ドル 台で推移し月間平均では425 ドル 、前月比28 ドル の下落。バンカーオイルも原油市況に追随して大幅に軟化し第2週には200 ドル を割り込み、月間平均では196 ドル 、前月比38 ドル の急落となった。

一方、米モンベルビュープロパンスポット価格は、全米プロパン在庫が減少に転じたものの、原油市況軟化に追随、25日でプロパン200 ドル 、ブタン240 ドル どころ、NWE(北西ヨーロッパCIF)市況は軟調、プロパン300 ドル 、ブタン330 ドル どころ。

1月CPは前年同月比プロパン80 ドル 、ブタン80 ドル のそれぞれ下落。原油(A・L)熱量等価換算では、プロパンはAL比139.39%、ブタン145.94%となり、前月に比べプロパン12ポイント下落、ブタン横ばい。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	68	67	67	63	66
CP先物指標：P	415	370	355	345	371
CP先物指標：B	435	405	385	375	400

② 原油市況等

原油市況をみると、WTIは12月41 ドル 台でスタートしたが、OPEC総会で生産目標を立てることができず、シェア維持重視に市場は落胆。全米原油在庫が最終週で予想外の増加、クッシング在庫も8週連続で増加し市況は軟化、更に、世界的にエルニーニョの影響で暖冬、暖房需要が低迷し、18日には終値で2009年2月以来の安値で35 ドル 割れとなった。

一方、NYMEXのWTI総取組高は29日時点で165万枚、前月末比横ばいとなったが、大口投機玉の買越残高は22日で19.3万枚と前月比2万枚減少。買建玉が減少、売建玉は横ばい。

○12月積みアラビアンライト(12月1~31日)は33.303 ドル (前月比-6.947 ドル)

熱量等価AL100% プロパン273.05 ドル/トン ブタン269.30 ドル/トン

AL比 プロパン126.35% ブタン144.82%

2. 2016年1月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
21~20日①	123.48	49,700	53,400	-2,800	-2,500
26~25日②	123.16	49,600	53,300	-3,000	-2,700
1~30日③	122.85	49,400	53,100	-3,400	-3,100

* TTS平均は①が11月21日~12月20日まで、②は11月26日~12月25日

③は12月1~30日、①、②、③ともに1月仕切適用。①、②、③いずれも

前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、価格制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。